



国立がん研究センター  
がん対策研究所  
National Cancer Center  
Institute for Cancer Control

# 持続可能ながん医療提供体制の構築に資する 国立がん研究センターによる技術的支援

国立がん研究センターがん対策研究所

1. がん対策研究所による技術的支援
2. がん登録情報のデータ提供と分析支援
3. 都道府県の取組に関する現状把握アンケートの実施予告

# 1. がん対策研究所による技術的支援

## 背景

- 第4期がん対策推進基本計画においては、「国及び都道府県は、がん医療が高度化する中で、引き続き質の高いがん医療を提供するため、地域の実情に応じ、均てん化を推進するとともに、持続可能ながん医療の提供に向け、拠点病院等の役割分担を踏まえた集約化を推進するとされている。その際、国は、都道府県がん診療連携協議会等に対し、好事例の共有や、他の地域や医療機関との比較・検討を可能にするために必要なデータの提供などの技術的支援を行う」こととしている。
- 国立がん研究センターでは、持続可能ながん医療の提供に向けて、地域の実情に応じたがん医療の均てん化・集約化の議論に資するよう、都道府県や都道府県協議会等に対して必要なデータの提供等の技術的支援を実施するための方策の検討を行う。あわせて、国民のニーズの高い診療実績等の情報を一元化して分かりやすく公表するための手法を開発する。

# 1. がん対策研究所による技術的支援

## 都道府県がん診療連携協議会における協議事項

- 国及び国立がん研究センターから提供されるデータや、院内がん登録のデータ等を活用して、将来の医療需要から都道府県内で均てん化・集約化が望ましい医療の具体について整理すること。
- がん種ごとにがん医療提供体制の均てん化・集約化を議論し、都道府県内で役割分担する医療機関について整理・明確化すること。
- 都道府県内の放射線療法に携わる有識者の参画のもと、放射線療法に係る議論の場を設け、将来的な装置の導入・更新を見据えた計画的な議論を行うこと。
- がん患者が安全で質の高い患者本位の医療を適切な時期に受療できるよう、院内がん登録を実施している医療機関を対象として、都道府県内の医療機関ごとの診療実績を、院内がん登録等の情報を用いて、医療機関の同意のもと一元的に発信すること。その際に公表する項目について協議すること。
- 2040年を見据え、持続可能ながん医療を提供するため、がん医療圏の見直しや病院機能再編等による拠点病院等の整備について検討すること。

# 技術的支援の三本柱



## 1. 手順書の開発

都道府県拠点病院へのアンケートを通じて、地域での議論を促進・阻害する要素を抽出し、「議論の手順書」としてご提供いたします。



## 2. データ解析ツールの提供

院内がん登録、全国がん登録、NDB、DPC等のデータを用いてデータ解析を行い、議論のためのツールとしてご提供いたします。



## 3. 患者・市民等向け情報発信

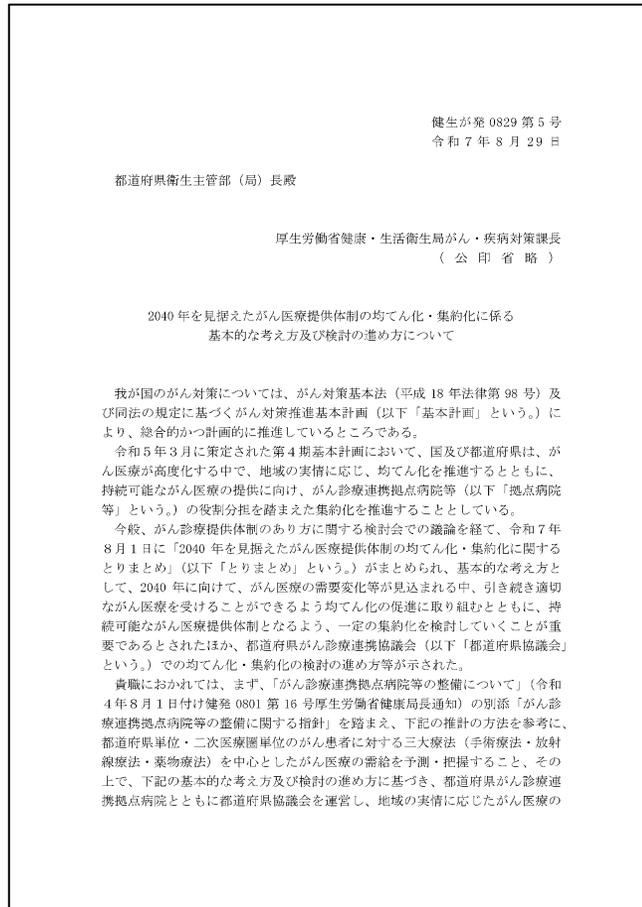
医療提供体制の変化について患者・市民目線での情報要素を抽出し「がん情報サービス」を通じて情報発信をします

# スケジュール（予定）

	R7	R8	R9
1. 手順書の開発	都道府県等への調査実施	議論に向けた手順書の作成	手順書を用いた各県への技術的支援
2. データ解析ツールの提供	指標検討	データベース構築	解析ツールの提供
解析データは開発と並行して <b>随時提供*</b>			
3. 患者・市民等向け情報発信	患者・市民等への調査実施	プロトタイプ作成	患者・市民等向けウェブサイトの公開

\*先行して「がん登録」に基づく施設別受療状況データをR7.9に提供  
その後、R8、R9下半期により広範なデータを、  
R8上半期から半期ペースでNDB等に基づくデータを提供予定

# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援



貴職におかれては、まず、「がん診療連携拠点病院等の整備について」（令和4年8月1日付け健発 0801 第 16 号厚生労働省健康局長通知）の別添「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」を踏まえ、下記の推計の方法を参考に、都道府県単位・二次医療圏単位のがん患者に対する三大療法（手術療法・放射線療法・薬物療法）を中心としたがん医療の需給を予測・把握すること、その上で、下記の基本的な考え方及び検討の進め方に基づき、都道府県がん診療連携拠点病院とともに都道府県協議会を運営し、地域の実情に応じたがん医療の

p.1

## (2) 都道府県協議会での協議事項

国及び国立がん研究センターから提供される将来の人口推計や、都道府県内・がん医療圏内の将来のがん患者数、院内がん登録のデータ等を活用し、将来の医療需要から都道府県内で均てん化・集約化が望ましい医療の具体について整理すること。また、がん種ごとにがん医療提供体制の均てん化・集約化を議論し、都道府県内で役割分担する医療機関について整理・明確化すること。

p.7

2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について(令和7年8月29日 健生が発0829第5号)

# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援

- 目的

全国がん登録情報、都道府県がん情報、院内がん登録症例集計の情報を利用して、各都道府県でのがん診療の実態把握や医療需要が分析できるよう、国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターとして支援する

- 方法

集計情報の提供と簡単なツール、操作手順書の提供  
病院等及び都道府県行政担当者向けがん登録情報分析研修の実施

- 実施時期

データ提供：2025年9月～複数回提供予定  
研修：2025年度受付締切、2026年度以降

# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援

## 【第1回】院内がん登録症例集計の情報

## 【対象年】

2023年症例

## 【利用データ】

院内がん登録症例収集データ

参考：国立がん研究センター, がん情報サービス,  
院内がん登録関連, 院内がん登録全国集計  
[https://ganjoho.jp/public/qa\\_links/report/hosp\\_c/hosp\\_c\\_registry.html](https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_registry.html)

## 【対象施設】

がん診療連携拠点病院等（令和6（2024）  
年6月時点）：461 施設

小児がん拠点病院（令和6（2024）年6月  
時点, ①を除く）：6 施設

がん診療拠点病院以外（院内がん登録全国  
集計2023参加施設）：415 施設

# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援

## 都道府県別施設数(2023年集計)

都道府県	①拠点	②小児拠点	③拠点外
北海道	22		28
青森県	5		8
岩手県	10		1
宮城県	8		5
秋田県	10		4
山形県	6		3
福島県	7		3
茨城県	10		9
栃木県	8		7
群馬県	9		7
埼玉県	14	1	15
千葉県	16		23
東京都	30	2	40
神奈川県	23	1	13
新潟県	9		5
富山県	5		5

都道府県	①拠点	②小児拠点	③拠点外
石川県	5		12
福井県	5		3
山梨県	4		
長野県	12		6
岐阜県	9		3
静岡県	13	1	9
愛知県	19		15
三重県	5		11
滋賀県	7		6
京都府	13		9
大阪府	18		56
兵庫県	18	1	15
奈良県	6		5
和歌山県	6		4
鳥取県	3		7
島根県	5		5

都道府県	①拠点	②小児拠点	③拠点外
岡山県	10		5
広島県	12		5
山口県	8		3
徳島県	5		2
香川県	5		1
愛媛県	8		8
高知県	4		2
福岡県	24		3
佐賀県	4		2
長崎県	6		2
熊本県	7		14
大分県	6		2
宮崎県	3		2
鹿児島県	13		9
沖縄県	6		13

# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援

## 集計の概要

### A : 基本情報

- 年齢
- 性別
- 部位
- 症例区分

### B : 病期分布

- UICC TNM分類, ステージ件数・割合
  - 治療前ステージ
  - 後病理学的ステージ
  - 総合ステージ

- 医療施設
- 部位
- 施設種類（拠点、小児拠点、拠点外）
- 症例区分

で分けて集計

### C : 治療方法

- 治療方法別の件数・割合
  - 自施設で実施した治療
  - 自施設・他施設で実施した治療

### D : 受療動向

- 医療施設別の受診者住所（医療圏）割合

# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援

集計結果の表示

- Microsoft Excel のピボットテーブルおよびピボットグラフで表示
- 任意に対象を選択・切り替えながら、ピボットテーブルやピボットグラフを閲覧してください。



# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援

## 集計結果の表示

- Microsoft Excel のピボットテーブルおよびピボットグラフに使用した 詳細集計表も利用できます。

さらに詳細な図表を追加したい場合は、データ用のシートを利用し作成してください。

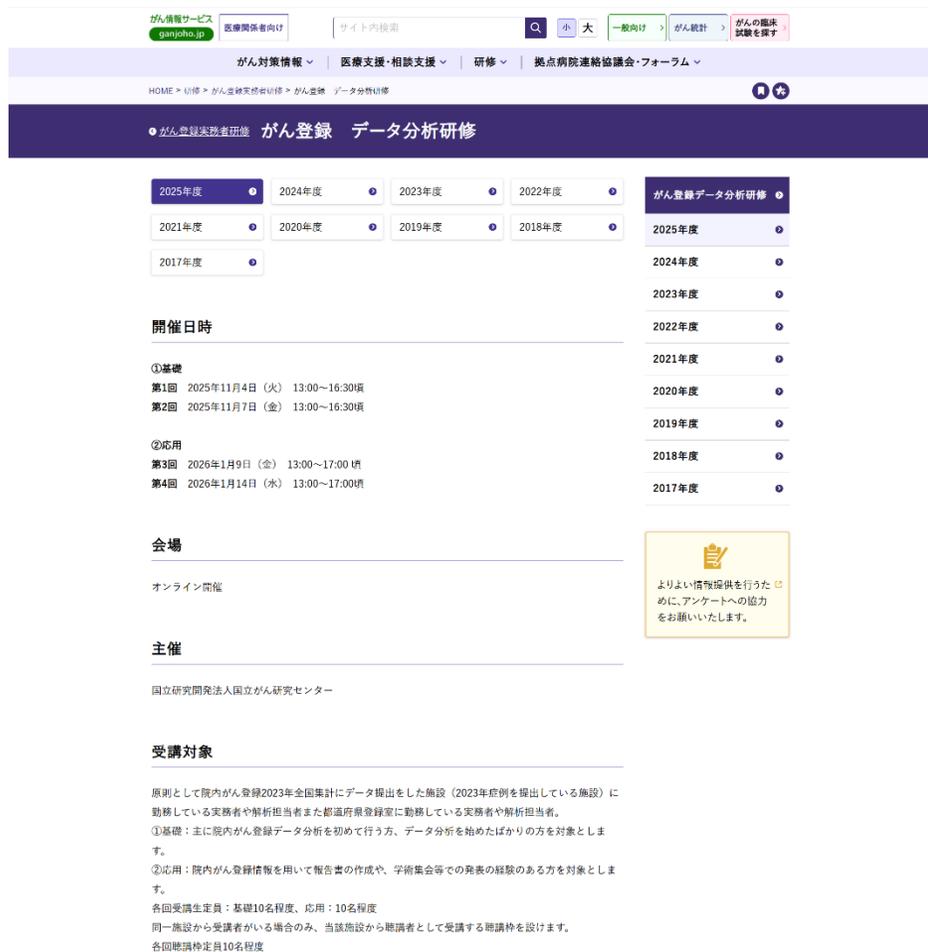
項目定義は、院内がん登録施設別集計データの概要を参照してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	hosp_id_long	hospname	hp_pref	bunrui	sex	AgeCat	c_stage_2d	c_stage_3d	p_stage_2d	p_stage_3d	stage_2d	stage_3d	v420
2				胃癌	1_男性	40歳-64歳	I	I	I	IA	I	IA	20_自施設診
3				胃癌	1_男性	40歳-64歳	I	I	I	IA	I	IA	20_自施設診
4				胃癌	1_男性	40歳-64歳	I						0_他施設診
5				胃癌	1_男性	40歳-64歳	I						他施設診
6				胃癌	1_男性	40歳-64歳	II						診断のみ
7				胃癌	1_男性	65歳-74歳	I						自施設診
8				胃癌	1_男性	65歳-74歳	I						他施設診
9				胃癌	1_男性	65歳-74歳	I						他施設診
10				胃癌	1_男性	65歳-74歳	I						他施設診
11				胃癌	1_男性	65歳-74歳	I						診断のみ
12				胃癌	1_男性	65歳-74歳	I						0_その他
13				胃癌	1_男性	65歳-74歳	III	III	III	IIIB	III	IIIB	20_自施設診
14				胃癌	1_男性	65歳-74歳	IV	IV	IV	IV	IV	IV	30_他施設診

# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援

- 集計方法によって都道府県の報告書等と差がある場合があります。
- いくつかの集計表では、少数のセルが含まれます。個人の特定につながらないよう、取り扱いには十分にご配慮をお願いします。
- 今回ご提供する情報は、【第1回】として、医療施設の集約化・均てん化を評価するための資料の一部です。詳細な評価にはさらなる情報が必要であるため、今後も追加の情報提供を予定しています。

# がん登録情報の提供と受療動向等の分析支援



がん情報サービス ganjoho.jp

がん登録実務者研修 **がん登録 データ分析研修**

2025年度 2024年度 2023年度 2022年度 がん登録データ分析研修 2025年度 2024年度 2023年度 2022年度 2021年度 2020年度 2019年度 2018年度 2017年度

**開催日時**

①基礎  
 第1回 2025年11月4日（火） 13:00～16:30頃  
 第2回 2025年11月7日（金） 13:00～16:30頃

②応用  
 第3回 2026年1月9日（金） 13:00～17:00頃  
 第4回 2026年1月14日（水） 13:00～17:00頃

**会場**

オンライン開催

**主催**

国立研究開発法人国立がん研究センター

**受講対象**

原則として院内がん登録2023年全国集計にデータ提出をした施設（2023年症例を提出している施設）に勤務している実務者や解析担当者または都道府県登録室に勤務している実務者や解析担当者。  
 ①基礎：主に院内がん登録データ分析を初めて行う方、データ分析を始めたばかりの方を対象とします。  
 ②応用：院内がん登録情報を用いて報告書の作成や、学術集会等での発表の経験のある方を対象とします。

各回受講生定員：基礎10名程度、応用：10名程度  
 同一施設から受講者がいる場合のみ、当該施設から聴講者として受講する聴講枠を設けます。  
 各回聴講枠定員10名程度

よりよい情報提供を行うために、アンケートへの協力をお願いします。

## 内容

### 1. 研修の目的

①基礎では、がん登録データに関する精度管理のチェックポイントの確認、基礎的な集計方法を学ぶことで正確・有効なデータの作成とその活用について学びます。

②応用では、蓄積したがん登録データの分析法について学び、発表を実践し、各施設や都道府県等でデータを有効活用することを目的とします。

### 2. 研修の構成

データ分析についての講義を踏まえ、実際の院内がん登録症例（全国）集計のデータや都道府県がん情報のデモデータを用いて、品質管理やデータ集計・分析についての実習を行います。

①基礎では、事前学習では「がん登録の活用」、「がん登録集計方法」を学びます。当日は、Excelを使ったデモデータによる品質管理や集計の練習を行います。

②応用では、事前課題で院内がん登録症例（全国）集計結果閲覧システムや全国がん登録罹患数・率報告等を用いて施設ごとのがん診療や都道府県のがん罹患の特徴把握や今後の課題を考察します。当日は実際に発表を行い、発表方法や分析内容の改善点について学びます。

### 3. プログラム（予定）

	第1, 2回 基礎	第3, 4回 応用
e-learning	講義① がん登録の活用（約30分）	講義① がん登録分析の基礎（約20分）
	講義② がん登録集計方法（約20分）	講義② 生存率算出とその解釈（約20分）
当日 13時-16時半頃 基礎 13時-17時頃 応用	演習Excelを用いたがん登録データの品質（精度）管理	演習① 事前課題
	講義③ 品質管理の必要性 質疑応答	講義③ がん登録データを元にした研究 質疑応答

※別途応用編受講者には事前課題を連絡します。ご自身が参加する研修会開催日の基本2週間前までに提出をしていただきます。提出締切の日程は別途お知らせいたします。

## 申し込み

基礎と応用の申込期限が異なります。ご注意ください。

①基礎：2025年7月22日（火）～8月5日（火）

②応用：2025年9月25日（木）～10月9日（木）

[https://ganjoho.jp/med\\_pro/training/cancer\\_registration/tabulated\\_analysis/2025.html](https://ganjoho.jp/med_pro/training/cancer_registration/tabulated_analysis/2025.html)

今年度の募集は終了しましたが、来年度以降も内容を拡充して継続いたします

# 各都道府県協議会における集約化の取組に関する現状把握のアンケート

- 目的

各都道府県協議会におけるがん診療提供体制の集約化の取組状況を把握し、取り組みの阻害要因・促進要因や好事例を明らかにする。これにより、今後の技術的支援に資する基礎資料を得る。

- 対象

都道府県がん診療連携協議会

- 方法

オンラインでのアンケート

- 実施時期

令和7年内に依頼

# アンケート項目（1）

- がん医療提供体制にかかる都道府県の取組の現状（3問）
  - 地域医療構想や医療計画におけるがん医療提供体制の位置づけ
  - 都道府県がん対策推進計画内でロジックモデルを用いたがん医療提供体制に対する施策の実施、中間アウトカム・アウトカム評価の現状
- 都道府県がん診療連携協議会（協議会）の体制（6問）
  - 拠点病院等地域のがん診療医療機関、医師会・患者団体等の参画状況
  - 協議会の開催状況
  - 外部組織（学会・シンクタンク等）との連携

## アンケート項目（2）

- 協議会の協議事項と役割（11問）
  - 協議会における均てん化・集約化の検討・進捗状況
  - 協議会における中心的存在、調整機能
  - 協議会におけるデータの利活用状況
  - 均てん化・集約化の調整・推進に向けて必要な支援
  - 均てん化・集約化の調整・推進に向けた阻害要因
- 協議会でのがん医療の質に関する指標（Quality Indicator）の活用（4問）
- 都道府県の均てん化・集約化検討の留意事項（3問）
  - がん医療と地域包括ケアの連携
  - 拠点病院とかかりつけ医との連携（D to P with Dなど）
  - ACP（アドバンス・ケア・プランニング）や患者の意思決定支援体制